

# 「産業社会と人間」職場体験学習

DATA

場所：福島県郡山市  
 実施者：郡山国道工事事務所 地域づくり推進室 [TEL (024) 946-0333]  
 参加者：福島県立光南高等学校 平成12年1年生 7名  
 平成13年1年生 8名  
 実施日：平成12年7月6日～7月7日、7月13日～7月14日  
 平成13年6月28日～6月29日、7月5日～7月6日  
 学習時間：2日間

関係する分野

- 環境
- 交通
- 社会
- 地域
- 歴史
- 福祉
- 健康

背景

今回の職場体験学習は、福島県立光南高等学校の総合学科「産業社会と人間」授業の一環として、県内の40企業・事業所の協力のもと、生徒の正しい職業観と勤労意識を育てようと6年前から毎年行われていますが、郡山国道工事事務所としては、平成12年度より職場体験学習を受け入れています。

内容

郡山国道工事事務所の職場体験学習は2日間にわたって行っています。道路パトロール車に乗車しての道路パトロールや車椅子を用いた歩道点検、49号中山峠風力発電設備など現場体験を主体とした内容となっています。また、若手職員が生徒の皆さんに近い視線で分かりやすく業務の説明を行いました。



実際に働く人々から聞く社会や仕事の仕組み



車椅子から見ると見慣れた通学路も別のものに



工事現場へ赴く生徒たち



一つ一つしっかりメモをとります



測量に挑戦する生徒たち

成果

体験学習を通して、生徒の職業観と勤労意識の向上や社会人としての心構えを感じ取ってもらえたものと思います。また、普段あまり知られていない道路管理について、生徒自らの体験を通して理解を深めていただきました。

参加者の声

「私たちは、この実習を通して何かとても大切なことを教わったような気がしてなりません。社会人としての皆様に間近で見学して、“人のために何かをする喜び”というものを感じました。自分自身でも心身ともに成長したような気がします。」

(福島県立光南高等学校 1年生)

「実際に車椅子に乗りながらの歩道点検は、暑期中大変でしたが良い経験になりました。歩道を使う人の目線に合わせて点検するという陰の努力を知りました。」

(福島県立光南高等学校 1年生)



実習を終えて届いたお礼状



福島民友 平成12年7月17日



福島民報 平成12年7月18日

ポイント

- 実際の職場の体験学習を通して、職業観と勤労意識の向上を目指します。
- 社会を支えるために働いている人々の姿と、思いや願いを直接体験する事で、社会性の向上をはぐくみます。
- 社会資本整備の仕組みや道路管理への理解を深めてもらいます。

次のステップに向けて

- 単なる現場見学的にならないよう、人々の快適で安全な生活を守る道路管理について学習を深めていくことも考えられます。
- そこで働く人々の願いや思いを通して、社会学習として取り組むことも考えられます。